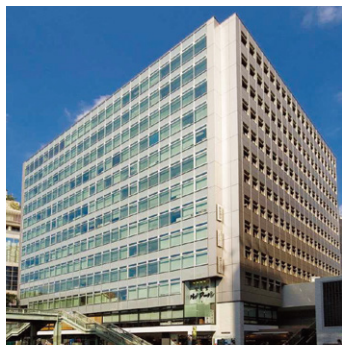


# 何をしなければならぬか 目的意識を持って活動する

## 復旧活動の目的に応じて役割分担し、訓練で検証

東急建設株式会社本社ビルには、平常時で約1000名の役職員や来訪者がおります。大規模な災害が発生した時、緊急対策本部が設置され、復旧活動の目的に特化した7つの活動隊と情報の共有と連絡を担う事務局が組織され、役職員は予め定められた組織で活動を行います。

主な活動の拠点となる事業所の選定と整備、隊員の割振り、備品の配備には、平常時からの準備が重要です。BCM推進室では関係部署と共に体制の整備に努め、緊急対策本部が機能するか検証し、また改善するために目的毎の訓練を実施しております。



東急建設株式会社本社ビル

## 非常時だけの用途に限らず

BCM推進室では、活動隊員を始め、来訪者、負傷者、緊急帰宅希望者等の支援として本社ビルへの備蓄を進めておりますが、今回、被災時の代替機器として、衛生面と使い勝手からラップオンを導入しました。

「実際に訓練で使用した感想として、武骨さはありますが耐朽性とメンテナンスのし易さから、非常時に限らず用途は広いのではないのでしょうか。建設現場では、作業事務所と実際の施工場所が離れている場合が多く、このラップオンが配備されると助かる現場もあると思います」(釘本室長)。



防災訓練の様子

## Interview



東急建設株式会社  
BCM推進室  
室長  
釘本 英治 様



美しい時代へ—東急グループ  
**東急建設株式会社**

本 社 〒150-8340  
東京都渋谷区渋谷1-16-14 渋谷地下鉄ビル  
創 業 昭和21年3月12日  
資 本 金 163億5,444万円(平成21年3月31日現在)  
従 業 員 数 2,434名(平成21年3月31日現在)